

さいたま市(埼玉県)の一体的実施①

平成24年3月1日事業開始

市内3区の区役所庁舎内に、「ジョブスポット大宮」「ジョブスポット浦和」「ジョブスポット岩槻」を設置し、市とハローワークによる生活困窮者に対する一体的支援を実施。

平成25年10月1日には、「ジョブスポット見沼」を新たに開設。

市

福祉サービス、相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者及び住宅手当受給者等の生活困窮者に対する支援
(ジョブスポットの設置・運営、巡回相談の実施)
- ・セミナーの実施

② 協定・事業計画

- ・さいたま市長と埼玉労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を、さいたま市と埼玉労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・さいたま市職員、埼玉労働局職員、労使各団体代表者をメンバーとする運営協議会を設置



国

職業紹介・職業相談の実施等

大宮区、浦和区、岩槻区、見沼区の区役所内に「ジョブスポット」を設置し、残りの区には国の相談員が巡回相談を実施。身近な区役所で、福祉から就労までの支援を実現。

(1) 実施体制

4区の区役所内に常設窓口を設置。残り6区へは、国の相談員が巡回相談を実施。

市

- 各区に、
- ・キャリアカウンセラー 1名
 - ・就労支援員 1名を配置（合計20名）

国

- ・職業相談員 計5名、就職支援ナビゲーター 計6名を4区の常設窓口配置
- ・求人情報提供端末 計10台、職業紹介端末 計10台を4区の常設窓口設置

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(平成26年3月末時点)
生活困窮者に対する就職支援	<ul style="list-style-type: none">◇就職件数 ジョブスポット浦和・大宮・岩槻・見沼の4施設合計で年688件以上 うち紹介就職560件以上◇セミナーの開催 ジョブスポット浦和・大宮・岩槻の各施設毎に年3回以上開催 (見沼については初年度につき年1回以上)	<ul style="list-style-type: none">◇就職件数817件 うち紹介就職650件◇セミナーの開催 11回実施 参加者70人

一体的実施事業による就職成功例

男性：50歳代 希望職種：軽作業

直近の状況：倉庫内作業（野菜の袋詰め）に採用されるも、体力的にきついとのことで2日で退職。

① 抱える課題

- とび職20年、それ以前は漁師を12年経験しており、体を使う仕事に自信があったが、病気とケガにより、経験のある建築関連には就くことは難しく、1日5時間以内の清掃・倉庫作業、駐車場受付などを検討。

② 支援内容・ポイント・経過

- 自転車で通勤できる場所でないと思募しない。また具体的な職種では、マンション清掃は住民との接触を敬遠し、警備職・駐車場管理は自分には出来ないと思募せず、駐輪場の求人は出来そうと話す。
- 週1回はジョブスポットを利用していたが、体調を崩したとのことで約1か月来所できない状態が続いたこともあり、ハローワーク相談員・市の就労支援員とも体力の不足及び健康状態の不安を懸念。
- 思募可能な求人も限られ紹介も少なかったが、清掃作業の求人には興味を示し思募・面接したところ、「職場の雰囲気も良く、気に入ったので採用されれば是非と」と本人から就労の意欲が示された。

③ 結果 ※支援期間 3ヶ月

民間施設の廃棄物分別清掃作業に採用

- 野菜屑と廃段ボールの仕分け、混入物の取り出し及び清掃作業等。
- 1日4時間、週5～6日の勤務。

○ ハローワーク担当者の所感

- 希望職種が限られている、体力に不安がある、自宅から自転車通勤範囲でないと思募しない等々、条件にこだわる者と思われたが、市の就労支援員とともに本人の健康・体力を配慮しながら興味のある仕事を継続的に検索・提供した結果、意欲の向上が図られ、就職が実現したと思慮される。